

社会資本総合整備計画

平成30年1月12日

計画の名称	大野市における水の循環の実現（その2）（重点計画）			重点計画の該当
計画の期間	平成30年度～平成34年度（5年間）	交付対象	大野市	
計画の目標				

下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。

計画の成果目標（定量的指標）

①下水道処理人口普及率を46%（H30当初）から56%（H34末）にする。

定量的指標の定義及び算定式

①下水道処理人口普及率
処理人口（人）／行政人口（人）（H29末：34,023人）

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H32末)	最終目標値 (H34末)
46%	52%	56%

備考

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	4,198百万円	A	4,193百万円	B	0百万円	C	5百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C+D)	0.1%
-------	-----------------	----------	---	----------	---	------	---	------	---	------	---------------------------	------

交付対象事業

A1 下水道事業											全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考					
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名					事業実施期間（年度）				
															H30	H31	H32	H33	H34
1-A1-1	下水道	一般	大野市	直接	-	汚水	新設	中央・赤根・真名川幹線枝線整備（未普及対策）	φ=150～300 L=40.0km(設計含む)	大野市						3,858	—		
1-A1-2	下水道	一般	大野市	直接	-	処理場	新設	大野市下水処理センター	OD、最終沈殿池、次亜設備、汚泥脱水機等（設計含む）	大野市						335	—		
合計											4,193								

B 関連社会資本整備事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H30	H31	H32	H33	H34		
合計											0					

C 効果促進事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H30	H31	H32	H33	H34		
1-C1-1	下水道	一般	大野市	直接	-	新設	広報活動、環境教育の推進	広報活動、環境教育の推進	大野市						5	
合計											5					

番号 一体的に実施することにより期待される効果

1-C1-1 基幹事業である中央・赤根・真名川幹線枝線整備、下水処理センターの増設に合わせ、下水道の普及促進を図るため、パンフレット作成等により広報活動、環境教育の推進を行う。

備考

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H28	H29	H30	H31	H32		
合計											0					

番号 一体的に実施することにより期待される効果

備考

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H30	H31	H32	H33	H34
配分額 (a)					
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)					
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))					
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由					

※ 平成30年度以降の各年度の決算額を記載。

